

わ
ま
と

縁にこたます音楽の里

2004

4

April No.396

平成16年

<http://www.kawamoto-town.jp/>

特集 48

求められる 財政再建

一町の新年度予算



新年度予算では、徹底した歳出削減を図る一方、少子高齢化対策や人材育成などを重視した予算を計上しています。

(写真は川本幼稚園児)

川本町議会二月定例会で、平成十六年度の一般会計・特別会計予算が可決されました。うち、一般会計の規模は、総額三十九億四千四百一十二万八千円（前年度比三・四%減）で、九年ぶりに四十億円台を切る予算となっています。財源不足を背景に、基金から約三億八千万円を取り崩して対応し、本年度末の基金残高は一億円程度になる見込みです。超緊縮型となつた本年度予算を特集します。

(前年度比三・四%減)
となりました。

本年度の一般会計当初予算は、国が推進する「三位一体改革」に伴う地方財政計画によつて、地方交付税が大幅に削減。その一方で、膨らんだ町債残高の償還などが多く、歳入・歳出の両面で厳しい財政運営を迫られることになりました。このため、特に財政負担の重い町単独事業を大幅に削減しました。

この結果、一般会計の予算規模は、三十九億四千四百二十二万八千円

十万五千円（一・一%）
一万円を計上しています。一方で、町税は、四百

一・二%減の十八億二千

大幅減

—歳入—

“地財ショック”で

大幅減

町の“生命線”である

地方交付税は、国の方

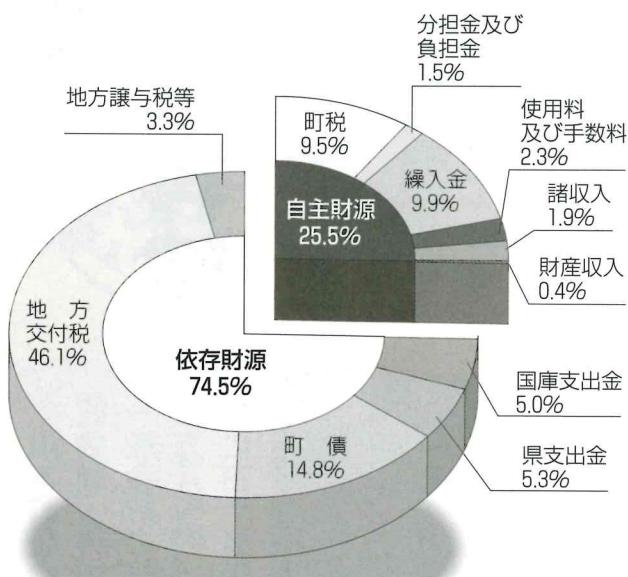
財政計画によつて大幅に

削減。前年度当初比で一

万円を計上しています。

特集 48 町の新年度予算

歳 入



■歳入内訳

(単位:千円、%)

区分	当初予算額	構成比	対前年比	
			増減額	増減率
自主財源	1,003,758	25.5	△207,036	△17.1
町税	374,694	9.5	4,105	1.1
町民税	160,642	4.1	△3,229	△2.0
固定資産税	180,030	4.6	4,182	2.4
その他	34,022	0.8	3,152	10.2
分担金及び負担金	60,156	1.5	4,303	7.7
繰入金	390,141	9.9	△216,784	△35.7
使用料及び手数料	88,712	2.3	△7,492	△7.8
諸収入	76,254	1.9	△158	△0.2
財産収入	13,801	0.4	8,990	186.9
依存財源	2,940,470	74.5	67,628	2.4
国庫支出金	197,595	5.0	12,760	6.9
県支出金	210,475	5.3	△8,532	△3.9
町債	583,800	14.8	270,500	86.3
地方交付税	1,820,000	46.1	△230,000	△11.2
普通交付税	1,700,000	43.1	△200,000	△10.5
特別交付税	120,000	3.0	△30,000	△20.0
地方譲与税等	128,600	3.3	22,900	21.7
歳入合計	3,944,228	100.0	△139,408	△3.4

増の約三億七千万円を見込んでいます。いわゆる“地財ショック”的影響で、大幅な財源不足となつたため、基金から約三億八千万円を取り崩して対応。その結果、本年度末の基金残高は、一億円程度となる見込みです。

歳出

財政健全化に向け 経費カット

財政の危機的な状況下での健全化を模索。職員（五%）・議員の給料・報酬のカットなどを、前年度に引き続き実施することにしました。

その結果、人件費は、一般職六十四人分（前年度六十八人）の四億九千百八万三千円（前年度六千九十七万一千円、一一・二%減）、特

特集48 町の新年度予算

歳出

性質別歳出状況

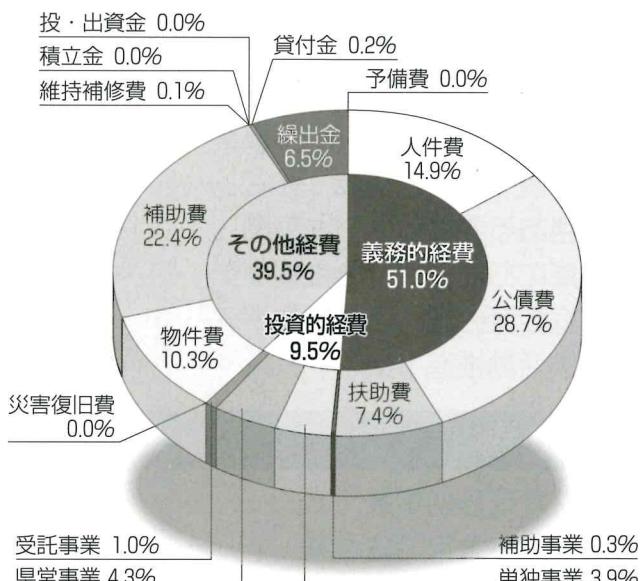
(単位：千円、%)

区分	当初予算額	構成比	対前年比	
			増減額	増減率
義務的経費	2,013,501	51.0	107,668	5.6
人件費	589,104	14.9	△70,038	△10.6
公債費	1,132,683	28.7	161,983	16.7
扶助費	291,714	7.4	15,723	5.7
投資的経費	371,519	9.5	△156,609	△29.7
普通建設事業費	371,519	9.5	△156,609	△29.7
補助事業	10,399	0.3	△5,501	△34.6
単独事業	152,845	3.9	△190,392	△55.5
県営事業	170,275	4.3	44,525	35.4
受託事業	38,000	1.0	△5,241	△12.1
災害復旧費	0	0.0	0	—
その他の経費	1,559,208	39.5	△90,467	△5.5
物件費	406,256	10.3	△40,969	△9.2
補助費	883,695	22.4	△42,667	△4.6
維持補修費	2,928	0.1	△2,237	△43.3
積立金	287	0.0	△17,115	△98.4
投・出資金	0	0.0	0	—
貸付金	8,220	0.2	2,256	37.8
繰出金	256,822	6.5	11,265	4.6
予備費	1,000	0.0	△1,000	△50.0
歳出合計	3,944,228	100.0	△139,408	△3.4

目的別歳出内訳

(単位：千円、%)

区分	当初予算額	構成比	対前年比	
			増減額	増減率
議会費	56,048	1.4	△3,614	△6.1
総務費	621,799	15.8	△62,749	△9.2
民生費	583,342	14.8	△7,019	△1.2
衛生費	438,546	11.1	11,684	2.7
農林水産業費	432,872	11.0	△51,712	△10.7
商工費	3,886	0.1	△2,497	△39.1
土木費	247,598	6.3	△53,071	△17.7
消防費	122,844	3.1	△4,808	△3.8
教育費	303,610	7.7	△126,605	△29.4
災害復旧費	0	0.0	0	—
公債費	1,132,683	28.7	161,983	16.7
予備費	1,000	0.0	△1,000	△50.0
歳出合計	3,944,228	100.0	△139,408	△3.4



これまで整備してきた各施設（悠邑ふるさと会館、音楽館、野外音楽堂、音楽研修棟、図書館、 笹遊学習全般）を盛り込んでいます。高校教育振興助成事業なども、対策事業▽地域インター ネット事業▽特色ある学習開拓事業▽川本音楽館、野外音楽堂、音楽館、図書館、 笹遊学校教育推進事業▽子育て支援事業▽全国展開事業▽子育て支援事業▽川本音楽館、野外音楽堂、音楽館、図書館、 笹遊

こうした中で、地域の活性化対策や少子高齢化対策、人材育成に目を向けた予算を計上。▽元気な集落づくり事業▽鳥獣対策事業▽地域インター ネット事業▽特色ある学習開拓事業▽川本音楽館、野外音楽堂、音楽館、図書館、 笹遊学校教育推進事業▽子育て支援事業▽全国展開事業▽子育て支援事業▽川本音楽館、野外音楽堂、音楽館、図書館、 笹遊

一般行政経費についても、自助努力による節減合理化を推し進めることにしました。

* * *

十五万二千円（前年度比二十七万八千円、○・六%減）、議員十二人分の四千二百三万五千円（前年度比百十一万八千円、二・六%減）としました。

特集 48 町の新年度予算

平成16年度の主要事業

(単位：千円)

地域活性化対策

- | | |
|------------------|--------|
| ・元気な集落づくり事業 | 7,092 |
| ・がんばる島根農林総合事業 | 1,537 |
| ・特定農山村地域活動支援基金事業 | 2,417 |
| ・中山間地域等直接支払事業 | 37,589 |
| ・有害鳥獣対策事業 | 1,805 |

地域情報化対策

- ・地域インターネット事業 3,626
 - ・IT講習推進事業 196

少子高齡化対策

- | | | |
|--------------------------------|-------|--------|
| ・高齢者丸ごと安心生活サポート事業 | | 15,904 |
| ・介護保険事業 | | 80,980 |
| ・特別保育推進事業
(延長保育・一時保育・障害児保育) | | 4,128 |
| ・地域子育て支援センター事業 | | 2,600 |
| ・放課後児童対策事業 | | 2,203 |
| ・特色ある学校教育推進事業 | | 1,000 |
| ・地域における教育の推進事業 | | 1,000 |
| ・家庭教育の充実強化事業 | | 100 |
| ・体験活動推進事業 | | 481 |

人材育成

- 人材育成補助事業 100
 - 定住奨学金貸付金事業 8,220
 - 川本高校教育振興助成事業 4,880

交通通信体系整備

- ・町道整備事業 2,600
 - ・県道改良負担金 36,550
 - ・県営農林道等負担金 133,725

生活環境整備

- ・合併処理浄化槽設置補助事業 10,399
 - ・飲用水確保対策補助事業 1,000
 - ・農業集落排水処理事業 63,635

里、インフォメーションセンター、運動公園、農村公園、児童公園、わんぱくの森、すこやかセンター、悠湯プラザなど)については、有効活用を図っていくため、行財政改革による施設管理運営の見直しを行い、経費節減を実施する方向です。

* * *

事業を中心とした大幅な縮減をしましたが、町道整備事業、宅地等水防災対策事業、合併処理浄化槽設置補助事業、造林事業などを計上しています。

* * *



- ◆新年度予算には反映されていませんが、2月臨時会・3月定例会で、次のことが議決されています。

- **報酬カット** 町長 20%→25%
助役・教育長 15%→20%
議員 5%→15%
- **特別職1人減** (収入役)
- **議員定数減** 12人→10人

川本町予算総額

(单位: 千円、%)

会計名	H16年度	H15年度	増減額	増減率
一般会計	3,944,228	4,083,636	△139,408	△3.4
特別会計	1,453,805	1,490,798	△36,993	△2.5
国民健康保険事業	409,826	441,761	△31,935	△7.2
老人保健事業	842,715	848,876	△6,161	△0.7
簡易水道事業	137,629	144,928	△7,299	△5.0
農業集落排水処理事業	63,635	55,233	8,402	15.2
住宅新築資金等貸付事業	40	50	△10	△20.0
合計	5,398,073	5,574,484	△176,411	△3.2

特集 48 町の新年度予算

町長に聞く

—十六年度一般会計当初予算は、厳しい編成になっています。

「いわゆる地財ショックの影響により、地方交付税が前倒しで大幅削減になり、歳入に大きくしづ寄せが来たためです。もちろん、これまで町が積極的に進めてきた投資的な事業によって、町の借金である町債残高がふくらみ、その償還と維持管理運営費に追われる状況になつて、現状のまでは、財政破綻が現実のものとなる恐れが強い。このため、徹底的な経費削減、事業の見直し、事業の優先順位を本予算に反映させました」

—基金も大幅に取り崩していきます。

「確かに、基金から約三億八



川本町長 橋口忠三

「財政再建は 皆さんとの協働で」

—今年度の事業の中で、気配りをしている点は。

「今回は町長選があつたため、骨格予算となり、最小限の事業にとどめています」

—一方で、財政難という背景を受け、協働のまちづくりが叫ばれているが、どう取り組んでいくのか。

「住民と行政との協働は、まさに『地域内分権』時代が求めている、これから住民自治の

千万円取り崩して対応しましたが、今年度末には残高が一億円になる見通しです。今後、地方交付税の増額が見込めない中で、基金一億円では、来年度の予算編成は更に厳しいものになります。場合によつては、^注再建団体になることも予想されるのではないかと考へています。た

だ、再建団体になると、さまざまな制約がかかり、住民の皆さんへの影響も出てくるので、そういう形にならないよう行財政改革を徹底的に進める必要があると思っています」

「今回の機構改革では、政策推進課を新設しました。今後は、この課を中心練り上げた事務事業評価に基づいて、事業の優先順位を明確にし、メリハリのある事業を展開。住民の暮らしを高めるよう全力を挙げていきます」

—今年度の事業の中

で、気配りをしてい

ます。

—確かに、基金から約三億八

えで予算に反映していくのか。

「私は常々、『地域づくりは人づくり』と言っています。この川本は、すばらしい自然、風土、文化など、誇れる地域資源をたくさん持っています。それを生かすには、人のネットワークリングが重要です」

「例えば、川本高校プラスをはじめ、神楽、和太鼓、お茶、お花など、文化・伝統芸能を中心にして、国内外へ積極的な情報発信をしていく仕組みをつくりたい。情報にのれば、その地域や人なりが、より広く知られることになるし、その地域の『モノ』もブランド化につながります。キーワードは『ローカルこそグローバル』と『温故知新』。地域の歴史から学ぶ姿勢が今後、求められてくるでしょう」

—一方で、財政難という背景を受け、協働のまちづくりが叫ばれているが、どう取り組んでいくのか。

「住民と行政との協働は、まさに『地域内分権』時代が求めている、これから住民自治のあり方でしよう。それをなくして、厳しい財政の中でのまちづくりは不可能になってしまいます。住民自らによる意志決定を、もつと推し進めなければいけないし、そういうことができる行政システムを形づくらなければいけないでしよう」

「例えば、住民の皆さんとの座談会を地域ごとに積極的に開き、地域課題を掘り下げ、一つひとつ解決していく。そのプロセスを大切にしながら、協働体制の芽を育てていきたい。それが結果的に、住みよい川本につながっていくと信じています。皆さんも、積極的に提言し、行動してください」

メモ ● 再建団体

◆ 赤字が大幅に膨らんで自主再建が困難になった自治体に対する団体で「準用財政再建団体」が正式名称です。

◆ 再建団体になると、国の管理制度に置かれ、マ法令に基づいて義務づけられた事業や緊急を要する事業以外の事務事業は廃止・縮小／公共料金は、全国平均からみて最高水準になるよう指導されるなど予想されます。

…川本高校 吹奏楽部が OBギター奏者と共に演

3/7



ギター奏者の反田修一さんと共に演する川高吹奏楽部員

後輩との共演をはじめ、自作しました。

コンサートには、川本高校卒業生で、ギター奏者として活躍する反田修一さん（川本町在住・県川本総務事務所勤務）がゲスト出演。森脇治夫教諭の指揮に合わせ、部員は反田さんとポップス曲などを軽快に演奏しました。

来場者から寄せられた浄財（八一、二五一円）は、日本盲導犬協会訓練センターに贈られました。

川本高校吹奏楽部が悠邑ふるさと会館でチャリティーコンサートを開き、定評のある「川高サウンド」を来場者に届けました。

部員は、昨年の全日本吹奏楽コンクール中国大会（小編成の部）で金賞を受賞した自由曲も披露し、表現力豊かな演奏で観客を魅了しました。

川本町役場（課別） 直通電話をご利用ください

- ・機構改革に伴い、平成16年4月以降の各課直通の電話番号は次のようになります。
- ・事務分掌などは、別紙により各戸配布をしていますのでご覧ください。

1階 (FAX72-1136)

住民課 ☎72-0632
健康福祉課 ☎72-0633
出納室 ☎72-2330

2階 (FAX72-0635)

総務課 ☎72-0631(代)
政策推進課 ☎72-0636
地域整備課 ☎72-0637
(水道) ☎72-0766

3階

議会事務局 ☎72-0068

教育委員会（悠邑ふるさと会館内）

教育課 ☎72-0594
かわもと図書館 ☎72-0025

川本西公民館 ☎72-1791
川本北公民館 ☎74-0445

川本に息づく ユキワリイチゲ



花は薄紫色で直径三センチ、葉はセリ科のミツバに似ています。
(平成十六年三月十九日撮影)

春を告げる花として知られ、県内での自生はめずらしいと言われている山野草『ユキワリイチゲ（雪割一華）』が、町内で発見されました。

要保護種として、野生動植物を紹介した『しまねレッドデータブック』に掲載されており、関係者は「似たような花を見つけたら、つみ取ったりしないで連絡してほしい」と保護を呼びかけています。

連絡先 県立三瓶自然館 ☎0854-86-0500



川本町では平成15年10月から、第3子以降3歳未満児の保育料を、一律3,000円（※注：一部例外あり）に軽減していますが、16年度においても、引き続き実施します。

これは、3人以上の児童を育てている世帯に対し、第3子以降3歳未満児の保育料を軽減する島根県の「第3子以降保育料軽減事業」にあわせ実施しているもので、経済的な負担を軽減することにより、子育て環境づくりを推進することを目的としています。

対象となる児童

- ◆保護者が現に育てている児童が3人以上いる世帯のうち、当該世帯の3人目以降の児童であって、入所日の属する年度の4月1日時点において、満3歳に達していない児童です。
- ◆ただし、「現に育てている児童」には、主として保護者等が扶養している大学生など（転出者を含む）についても含みます。
- ◆軽減の対象になるかどうか判断につきにくい場合は、役場健康福祉課でご確認ください。

申請

保育料の軽減を受けるには、毎年度、申請が必要です。（申請は隨時、受け付けています）

保育料の軽減額

申請を受理した月の保育料から、一律3,000円となります。

※注：現在の保育料が6,000円未満の場合は、その保育料を2分の1にした額となります。

問合せ 役場健康福祉課 ☎ 0855-72-0633

地域と歩む・ 川高存続に向けて 支援の動き活発化

3/30



川本高校の存続などについて意見を交わす出席者

「川本高校への支援を考える会」が同校後援会により開かれ、商工会や自治会長連合会、卒業生、学校関係者など四十人が出席。四月に、高校存続へ向けた町民集会を開催するなど、住民一体となつた支援のあり方を話し合いました。

会は、本年度から向こう五年間の高校再編成についてとりまとめた県の『県立高校後期再編計画』で、川本高校の統合が示されたことを受けた開かれたものです。出席者は、きめ細かい進路指

導をはじめ、部活動の実績、地域活動など、特色ある学校づくりを共通認識しながらも、少子化の将来予測を懸念。通学支援や寮の弾力運営など、広範囲にわたる生徒の確保について摸索しました。

吹奏楽部OB会の早間靖さんは「各種部活動の実績は、学校はもちろん、長年にわたり部員とOBとのつながりが深いことが特徴。今後も母校のため、できる限りの支援をしたいです」と話していました。

川本町一般会計補正予算

「平成15年度川本町一般会計補正予算」の概要は次のとおりです。

補正予算（第5号）

歳入歳出ともに7,200千円を増額し、予算総額はそれぞれ4,257,027千円となりました。

(単位：千円)

歳 入

特別交付税……………7,200

歳 出

町長・町議会議員選挙……………7,200

補正予算（第6号）

歳入歳出ともに35,218千円を増額し、予算総額はそれぞれ4,292,245千円となりました。

(単位：千円)

歳 入

市町村財政健全化促進臨時交付金……………12,889

かわもと開発残余財産分配金……………15,519

下三島宅防土地分代金 ……10,000

※減債基金繰入金 ……▲55,000

※ふるさと創生積立金繰入金……………▲41,800

※公共施設維持管理基金繰入金……………▲3,000

※学校整備基金繰入金……▲4,300

臨時財政対策債……………104,300

注※ 基金の取り崩しを一部とりやめたため

歳 出

退職手当組合特別負担金 ……30,224

ふるさと創生積立金 ……16,000

財政調整基金積立金……………6,800

減債基金積立金……………13,000

大邑農道県負担金不用額…▲5,496

多田宅防基本外造成工事費不用額……………▲7,463

長期債償還利子不用額 ……▲15,000

自衛隊幹部候補生の募集

幹部候補生学校で教育を受け、入隊1年後に、3等陸・海・空尉に任官します。

受付期間 5月11日(火)まで

応募資格 日本国籍を有し、平成17年4月1日現在、22歳以上26歳未満の方 ほか

試験期日 (1次試験)

5月22日、23日
試験地 松江市、浜田市
問合せ 自衛隊大田募集事務所
☎ 0854-82-1437

川本町教育委員

川本町教育委員は、次の方々です。

(平成16年4月1日現在)

井 川 譲さん (委員長)
片 山 隆 子さん
山 口 保 利さん
原 田 紀 孝さん
坂 根 豊さん

川本町役場「人事異動」

就 任

川本町長 樋 口 忠 三
(平成16年2月22日～)

川本町助役 尾 崎 順 和
(平成16年4月1日～)

川本町教育長 坂 根 豊
(平成16年4月2日～)

退 職 (平成16年3月31日付け)

梶 光 夫 (助 役)

大 畑 勝 美 (健康福祉課)

西 川 勝 治 (総務課)

山 根 満 江 (住民課)

真 茂 万智子 (水道環境課)

坂 本 茂 (文化振興課)

坂 根 豊 (教育課)
尾 崎 順 和 (企画財政課)
室 修 (住民課)

募 集

高校総体開会式の一般観覧

全国高等学校総合体育大会「中国04総体」総合開会式の一般観覧者を募集します。

総合開会式 8月1日(日)

島根県立浜山公園陸上競技場

募集人員 5,000人 (入場は無料)

申込方法

封書 (①、②を同封) による。

①入場券申込票 (募集チラシから切り取って使用。総体ホームページからダウンロードも可能)

②返信用封筒 (90円切手貼付)

※募集チラシは役場・教員委員会にあります。

受付期間

5月6日(木)～31日(月)まで

申込み・問合せ

〒690-0887 松江市殿町8-3

市町村振興センター5階

島根県全国高校総体推進室内

「中国04総体」総合開会式

一般観覧者募集係

☎ 0852-22-6469

5月の保健事業

役場健康福祉課 ☎ 0855-72-0633

今月はツベルクリン反応・
BCGの実施月です

6日(木)●乳幼児健診

13:00～

すこやかセンター

※対象の方には通知します

12日(水)●乳児相談

13:00～

すこやかセンター

※ブラッシング指導もあります

13日(木)●三原地区健康相談

9:30～10:30

川本北公民館

10:45～11:30

親和集会所

●精神デイケア

9:30～12:00

「ハイキング (邑智を探検しよう)」

18日(火)●胃がん検診

7:30～10:00

川本北公民館

母子手帳あるいは健康手帳をお持ちのうえ、気軽にお越しください。



交差点情報

川本町役場政策推進課

〒696-8501
島根県邑智郡川本町大字川本545-1
☎ 0855-72-0636
Fax 0855-72-0635
Hp <http://www.kawamoto-town.jp/>
E-mail kawamoto@kawamoto-town.jp

町の人口
男 2,144人 (2,173)
女 2,315人 (2,337)
計 4,459人 (4,510)
うち65歳以上 1,631人 (1,635)
うち15歳未満 457人 (467)
世帯数 1,938戸 (1,960)

平成16年4月1日現在の住民登録による
()は前年同月

相談

人権相談

人権擁護員協議会では人権相談を開設します。

日 時 6月1日(火) 10:00~15:00

場 所 すこやかセンター

問合せ 役場住民課

☎ 0855-72-0632

行政相談

5月17日から23日まで「春の行政相談週間」です。年金や税金、道路、河川など、行政の仕事について苦情がある、困っている、などといったことはありませんか。お気軽にご相談ください。

行政相談員 柿迫政徳さん

☎ 0855-72-0493

国民年金

学生納付特例の申請を

- ◆ 20歳以上の学生で、収入がなく、国民年金保険料を納めることが困難な場合は「**学生納付特例制度**」があります。申請して認められると保険料の納付が猶予され、卒業後10年以内であれば、さかのぼって納めることができます。
- ◆ この制度は毎年、手続きが必要です。昨年度から引き続き学生の方は、5月末までに必ず申請をしてください。

問合せ 役場住民課 ☎ 0855-72-0632

暮らし

トレーニングルーム 利用時間

トレーニングルーム（すこやかセンター）の利用時間は次のとおりです。

開館時間

火・木曜日 9:00~21:00
月・水・金曜日 9:00~16:00
土・日曜日 (第2・4) 10:00~16:00

休館日

土・日曜日(第1・3・5)、祝日
※行事等の都合により、上記以外
の日でも休館になる場合があり
ます。

使用料

大人 200円
子ども(中学生以下) 100円
65歳以上 無料
※お得な回数券があります。

利用受付・問合せ

社会福祉協議会
(すこやかセンター内)

☎ 0855-72-0104

固定資産税・町県民税

平成16年度から、固定資産税、町県民税についての全期前納報奨金制度の一部が改正されました。

平成15年度の交付率100分の1(変更前)から、100分の0.5(変更後)に引き下げられ、限度額が50,000円

になります。

問合せ 役場住民課

☎ 0855-72-0632

川本町スクールバス

4月1日から、川本町スクールバスの定期券・回数券販売所が変わりました。お間違えのないようお願いします。

販売所 役場住民課

教育課(悠邑ふるさと会館内)
※セット回数券は、従来どおり車内でも販売しています。

問合せ 教育委員会教育課

☎ 0855-72-0594

中国電力からのお知らせ

最近、中国電力の関係者を装い、電気温水器の点検・清掃や電気設備の点検・修理を行い、その場で支払いを請求する事例が増えています。

中国電力の社員や関係者がお客さま宅を訪問する際には、社員証・委託証明書を携行しています。必ず提示を求め、確認してください。

問合せ 中国電力(株)浜田営業所

☎ 0855-22-1320

チャイルドシート購入助成

チャイルドシートを購入した保護者の方に対し、助成金を交付します。

助成対象者

川本町に住所を有し、乳幼児(小学校に入学するまでの子ども)を現に監護する保護者の方です。

交付金額

チャイルドシート1台につき、購入価格の1/2額(100円未満の端数は切り捨て)で、15,000円を限度とします。

申請方法

チャイルドシート購入の領収書(品名または型式が記載されているもの)、印鑑をお持ちのうえ、役場健康福祉課へお越しください。

問合せ 役場健康福祉課

☎ 0855-72-0633

子ども歳時記

- file 30 -



ばかり
1年生

町内すべての小・中学校、高等学校で4月9日、入学式がありました。子どもたちは、新しく始まった学校生活に胸を躍らせていました。

photo : 2004.4.9 川本町立三原小学校1年生

私と吹奏楽との出会いは、中学生の時の部活動でした。それから、高校はもちろん、卒業後も、いろいろな吹奏楽の活動をしてきました。

現在は、「悠邑ふるさと吹奏楽団」で活動をしています。楽器は、体が大きくなります。

悠邑ふるさと吹奏楽団定期演奏会 (H16.1.24) にて (前列中央)



悠邑ふるさと吹奏楽団定期演奏会 (H16.1.24) にて (前列中央)

リーエッセイ 私の趣味 48

伊藤 武史
—川本町日の出—

「吹奏樂と私」

きいこともあり、金管楽器で、一番大きなチューバという楽器を吹いています。

私は音楽が好きなので、演奏するのも楽しいです

が、音楽を聴くのも楽し

いです。車でポップスとか聴いていると、ついつ

い口ずさんでしまうこともあります。私が音楽の中で特に好きなのは、マ

ーチ(行進曲)です。

吹奏樂といえば、私が妻と出会ったのも、これが縁でした。

みなさんも、いろいろな音楽を聴いたり、演奏したりしませんか? なかなか楽しいもんですよ!

考えていけるような紙面にす
るのか、すべては〈地域から
学び・考えた〉四年間だった
ようになります。▼次号から
(瀬)バトンタッチ。今後とも
力といった現実とのギャップ
。これをどう提起し、共に
よろしくお願いします。(下)